

特定非営利活動法人 会員誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com
⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



4・5月号
令和5年4月17日

■法人事務所・アトリエ	TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8	FAX 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(北町)	TEL 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(南飯淵)	TEL 0244 (36) 3582
●中央児童センター(ポニー・ことり)	TEL 0244 (35) 2008
●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり)	TEL 0244 (37) 8870
●日立木小放課後児童クラブ(めだか)	TEL 0244 (35) 3400
●磯部小放課後児童クラブ(げんき)	TEL 0244 (32) 1787
●八幡小放課後児童クラブ(なのほな)	TEL 0244 (26) 9011
●相馬こどものみんなの家	TEL 0244 (35) 4700

令和5年度、ふれあいサポート館アトリエの活動がスタートしました。

創立当初より多くの皆様のご理解とご協力をいただきながら、子ども達の情操教育に携わり、58年目を迎えました。

アトリエはじめ中央児童センター・桜丘小・飯豊小・日立木小・磯部小・八幡小の放課後児童クラブも加わり

子ども達が、デイサービスの皆さんと異世代交流をしながらお互いの能力を活かしあい

どの世代もイキイキ キラキラ みんないい笑顔で過ごせる居場所作りをデザインし活動しております。

大震災から12年。あの甚大な被害が忘れられないうちに4年前の台風19号の被害、2年前の2月13日そして昨年3月16日には震度6強の地震での被害。また長引いた新型コロナウイルスの感染拡大による影響は否めません。でもそんな中連絡が取れなくなっていた浪江教室の元教室生、原田葉子ちゃん、啓子ちゃん姉妹が連絡をくれアトリエまできてくれました。30年前にタイムスリップして、アルバムをめくりながら当時を懐かしみました。ご寄稿もいただきました。(裏面)今年度も新しいスタートです。スタッフ一同、心新たに活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。



NPO 法人 ふれあいサポート館アトリエ 紹介

理事長・倉本信之

副理事長・門馬浩之

顧問理事・渡辺雄彦(宮城教育大学名誉教授)

委託管理事業

・相馬市中央児童センター

館長 倉本信之

館長代理 門馬浩之・倉本まり子

主任 門馬美樹 相談員 倉本正子

・おやくこきょうしつ もりっこサポート

・ことりクラブ・ポニークラブ

星見旬子・三村未来・佐藤光江
門馬日菜・岡崎花奈子・熊川恵子

・飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)

森菜々・菊池菜津美・桜田祐実

・日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)

立谷良栄・林田千明・熊川恵子

・磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ)

門馬浩之・門馬日菜・佐久間浩子

・八幡小放課後児童クラブ(なのほなクラブ)

横山歩奈・佐藤桃子・熊川恵子

・相馬こどものみんなの家

稲 昌信・鈴木三恵子

かがそうけいきょうしつ 相馬絵画研究所

- ・未就学児 水野友美子・倉本まり子
- ・小学生 遠藤裕子・倉本まり子
- ・中学生～ 倉本まり子・遠藤裕子・門馬浩之
- ・陶芸教室 倉本まり子・倉本律子・門馬浩之
- ・特別授業 倉本信之・倉本郁哉
門馬美樹・水野友美子
- ・アシスタント 佐藤凖・小野内清人
岩崎百合恵・吉田百合子

ギャラリー絵のある部屋

管理者 門馬美樹

学芸員 倉本まり子・倉本律子

常設していますのでお気軽にご来館下さい

長寿の森園

代表 門馬浩之

南飯淵にある長寿の森園には目薬の木ばかりではなく、果物・野菜が栽培されています。

介護事業

施設長 倉本哲哉

管理者 倉本信之・門馬浩之

社会福祉士・生活相談員 倉本正子・吉田千賀
社会福祉主事・生活相談 倉本まり子

- ・デイサービス友遊(南) 主任 佐藤栄美子
- ・デイサービス友遊(北) 主任 藤田まどか

介護士 林光子・反畑ゆきな・渡辺則子

榎本標・松本やよい・高田幸江

看護師 臺内絹子・臺内久枝・小暮優子

宗像順子・渡邊澄江・渡部美枝子

・訪問介護友遊

サービス提供責任者 村上悦子

介護士 菅野ゆかり・黒木昭子・狩野陽子

富田久美子・永田博美

・居宅介護事業所

ケアマネージャー 倉本哲哉

・介護タクシー友遊

・イキイキ友遊塾

7月第4日曜日は親子の日。今年の7月第4日曜日は7月25日です。

思い出アルバム制作と会員誌発行のお願い

毎年、成長の記録のひとつとしてアルバム編集をしています。

自分たちで描いた一枚の絵と自筆のサイン、そして自分の顔をよく見て描いた自画像作品を差し込み、「手造りの本」として企画。思い出に残したい1コマを加え、かがぞうけいきょうしつでの一年の活動の記録をまとめます。編集部一同、一人ひとりがアルバムを手にとった時の感動を考えながら、編集しております。今年度も、創立より58年目の「思い出アルバムこどものえ」の制作を計画しております。また隔月発行で会員誌も作成しています。皆様からの情報提供、ご寄稿で更にグレードアップした内容でお届けしたいと思っておりますのでご寄稿のほど、お願いします。



今年度もいよいよスタート！

水野 友美子（未就学児コース担当）

幼児期は、これから成長していく中で土台となる時期。体を使って五感を働かせ、体を動かして体力を付け、心豊かにしてあげることが大事ですね。楽しくのびのび活動ができるような雰囲気、心掛けています。上手に描いたり造ったりする技法の指導も大事ですが、その前に子ども達の話の聞いたり、声をかけたりすることに力を入れ「〇〇したい」と意欲が出るよう導きたいと思っています。

「やる気」と「意欲」があれば、その効果は期待できます。

何事も好きになれば長く続き、長く続けば力はつきます。お子様の大事な時間をお預かりするわけですから「楽しい！」「毎日行きたい！」と、言ってもらえるような魅力的な教室になるよう、頑張ります。絵画教室では、限られた短い時間の中ではありますが、「遊び」「体験」を通したカリキュラムで取り組んでいきます。こども達がひらめき想像し、創造ができるようお手伝いしたいと思います。1年間よろしくお願ひします。

息子にも同じ経験を

原田 葉子（元浪江教室）

私が絵画教室でお世話になったのは小学生の頃でした。母が、当時浪江町の私の実家の近くで開かれていた絵画教室へ妹と一緒に通わせてくれたのです。私は絵画教室で、上手い下手ではなく描く事の楽しさを教えていただきました。特に楽しかったのが油絵です。小学校では経験出来ない油絵は、とても特別な事をしている気分、紙のパレットを使ったりワクワクして取り組んだ事を覚えています。そしてもう一つ、絵画教室といえばキャンプです。違う学校の子ども達、少し年上の高校生リーダー、いつもの教室とは違う先生達との関わり、親元を離れての生活全てが貴重な体験でした。

今でも素敵な思い出として鮮明に覚えているという事は、倉本先生とまり子先生、関わっていただいた全ての方々、大きな愛情のお陰だと思っています。子ども時代に行った絵画教室のキャンプは、沢山の仲間との関わり合いの中で私自身をとっても成長させてくれた大きなものでした。そして私自身親になり、自分の子どもにも同じような経験をさせてあげたいと思いました。今は県外に住んでいるので絵画教室へ通わせる事が出来ず残念ですが、同じような事をされてる塾を探し息子に通わせています。夏と冬のキャンプ、毎回帰ってくると少しずつ成長が見られ、何よりも、体験した事をとても嬉しそうに話してくれます。私の親もこんな気持ちだったのかと私自身も考えさせられ親子共々とても良い経験です。

先日30年以上ぶりに、妹とアトリエへ伺いました。倉本先生とまり子先生の変わらぬ優しい笑顔に胸がいっぱいでした。これからもたくさんの子どもの幸せの為に、お身体大切に元気でいてください。また会いに伺います！（つくば市在住）

カラフルな教室—だから楽しい

遠藤 裕子（小学生担当）

“かがぞうけいきょうしつ”は、通っている学校も違えば、年齢も異なる集団の教室です。20人いる教室は、20色がのったパレットのようなもの。

いっしょに絵を描いたり、おしゃべりしたり、友だちの作品を見合ったり、おやつを食べたり、毎時間はあっという間です。でも、一緒に過ごし、影響を与え合いながらまた新しい色が生まれパレットはさらにカラフルになっていきます。

“かがぞうけいきょうしつ”は、いろいろな材料や場所に出会い、形や色に働きかけ、イメージを生み出しながら「見方や考え方」を獲得していく教室です。

水彩絵の具、割りばしペン、墨汁、油絵の具、水性ペン、ろう、粘土、ガラス、和紙・・・画材も題材もバラエティー。だからこそ、一人ひとり、それぞれの個性を大切にしながら、互いに自分らしく関わり合える場所です。子どもたちがそれぞれの色を尊重し合い、新しい色をもつくり出していき、パレットはもっとカラフルになっていくでしょう。

そして、「けっこう素敵な自分」、「自分にはないところをもっている友だち」など、活動を通して、かけがえのない私と、大切な他者という実感を得ていく教室です。

そんな“かがぞうけいきょうしつ”に向かって・・・
今年度も頑張ります！

出会いに感謝

中村 啓子（元浪江教室生・元アシスタントリーダー）

私が絵画教室と出会ったのは30年以上前のこと。

幼稚園から小学校までお世話になり、その後高校生の時に教室のアシスタントをさせて頂きました。

アシスタント時代に倉本先生からのお声掛けで同行させて頂いた中国・モンゴル自治区訪問。飛行機に乗るのも初めてだった私は、行く場所見る物全てに興味関心でいっぱいでした。モンゴルでは移動式住居“ゲル”に泊まり、馬乳酒や楽器の演奏で歓迎をうけ、モンゴル相撲を拝見し乗馬など、初めて経験する事ばかり。年に一度のお祭りにも参加しました。煌びやかなドレスや民族衣装を身にまとった沢山の人々。開始時間一時間程過ぎても始まる気配がない事に対し、誰一人イライラする人がいないのです。ゆったりとした時間が流れ、いつの間にか始まりいつの間にか終わる。私達日本人には考えられない風習なのでしょう。そして何といても素晴らしい経験が、モンゴルの広大な平地・広い空・そして地平線に沈む夕日。今でも目に焼き付いて離れることのない風景です。

高校卒業するまでの間、リーダーとしてキャンプや味噌作り等参加し、教室に通っていた時とは違い、責任感や小さい子達をまとめる力等、その後保育者となった私にはとても良い経験となりました。

学校に通う時間に比べて絵画教室で過ごす時間の方がはるかに短いはずなのに、学校生活よりも思い出が沢山あるあのひととき。我が子が大きくなるにつれて時間(とき)の流れの早さを感じ、そして時間(じかん)に追われる毎日。あの時経験した沢山の出会いと、ゆったりと流れる時間を、今回倉本先生・まりこ先生はじめスタッフの皆さんにお会いし、今一度思い返す事ができました。

私にとっての絵画教室は、

- ・日常味わうことのできない体験・経験ができ、絵だけでなく心も成長させてくれるところ。
- ・いつもの場所で いつもの笑顔で私達を出迎えてくれる。大切なところ。

沢山の事を教えて下さった先生方やスタッフの方々、そしてその場に送り出してくれた両親に感謝しています。（横須賀市在住）